

ぼらんていあネットワーク

(士別市社協 朝日支部だより) No.69



このマークは、社会福祉及び社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るい幸せな社会を建設する姿」を表現しています。

発行日 平成26年7月11日(金)
発行 士別市社会福祉協議会朝日支部
事務局 士別市社会福祉協議会朝日支所
士別市朝日町中央4029番地
電話 28-2002 FAX 28-3322

御霊のご冥福を祈念し献花

平成26年度「朝日町招魂祭」が挙行されました



去る6月14日(土)忠魂碑境内において、平成26年度「朝日町招魂祭」が厳粛の内にもしめやかに挙行されました。

本年度は、遺族(23名)、来賓(20名)、総合支所並びに社協役員(9名)の出席のもと、全員で戦没者の御霊に黙とうを捧げました。

粥川祭典委員長の「式辞」、牧野市長の「慰霊の詞」、北海道連合遺族会町村会長様からの「追悼の辞」を井出朝日町遺族会長が代読の後、御霊のご冥福をお祈りし出席者全員が献花を捧げました。式典終了後、粥川祭典委員長並びに井出遺族会会長からのお礼の挨拶があり滞りなく終了しました。ご協力をいただきました総合支所並びに社協朝日支部役員の皆様ご苦労様でした。ありがとうございました。

いのちと健康をまもる

赤十字の活動資金にご協力を!



平成26年度赤十字社員及び社費の募集について

今年度も各自治会のご理解とご協力により、7月上旬~8月中旬まで社費の取りまとめをお願いしております。赤十字は人道と博愛の精神を基調とし、明るく住みよい平和な社会を築くために活動しております。

地震、豪雨等の自然災害が起きた場合の救援物資や負傷者の医療救護をはじめ国際赤十字の要請に基く救護等、数々の事業を行っておりますがこれらの活動費は全て赤十字社員の社費及び寄付金等で賄われており、社員の増強により社費の安定的な確保が極めて重要です。

昨年朝日地区においては687人の皆様からのあたたかい善意により276,600円が寄せられました。今年度も例年通り自治会を通じて、社費の募集をいたしております。

皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



日赤マスコットキャラクター犬「アイリー」

7・8月の主な行事

月 日	曜	行 事 名	時 間	場 所
7月5・6日		ふれあい広場2014in 土別		終 了
7月25日	金	ふれあい昼食会	10:30~12:30	サンライズホール
8月22日	金	ふれあい昼食会	〃	〃
8月24日	木	朝日神社例大祭(24日~26日)		

ふれあい広場 2014in しべつ Part31

「愛をこめ 絆を深め みんなの輪」

7月5日・6日の2日間にわたり「ふれあい広場2014in しべつ PART31」が開催され、多くのボランティア、市民の皆さんのご支援ご協力により盛会裡に終了しました。

「ふれあい広場」は、障がいの有無や年齢にとらわれず、市民交流の場とし「広場」での「ふれあい」を通し「ノーマライゼーション」の考え方を普及定着していくことを目的として毎年開催され、本年度で31回目を迎えました。

5日午後1時から特設ステージにおいて開会式が行われ、斉木士別市社会福祉協議会会長の開会の挨拶に続き、牧野市長をはじめ来賓の皆様から祝辞をいただきました。

引き続き、「ふれあい標語コンクール表彰式」、幼稚園児や小学生による器楽演奏などが行われ、翌7日にはステージではバルーンアート、土別市吹奏楽団、南中学校吹奏楽部などによる軽快な演奏が繰り広げられました。また、体育館内では車いすラクビーや室内ホッケー、風船バレー、点字教室、体力測定、スポーツサイエンス等数々の催しが行われました。

天候にも恵まれ大勢の市民の皆さんが来場し「ふれあいコンサート」「ふれあいのタベ」や「ふれあいの店」等々などを楽しみながら障がいの皆さんとの交流を深めていただきました。

(※ノーマライゼーション 障がいの有無に関係なく平等に生活できる社会をめざす考え方)

お知らせ

土別市ボランティアセンターでは、使用済み切手や書き損じハガキ、リングプル、ペットボトルキャップ、使用済みテレフォンカードなどをお預かりし、関係団体に郵送して役立ててもらっています。

朝日支所においてもこれらを預かり、ボランティアセンターに随時届けておりますので、ご遠慮なく朝日支所にお届けください。



斉木会長挨拶



車いすラクビー



風船バレー

